

重点目標	評価項目	コメント	評価	委員会評価
◎子どもの興味を捉え、育ちにつながる環境の在り方を考える。 (幼稚園部)	・子どもの思いや気づきから発する言葉に耳を傾ける保育者を目指し、実践につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境の変化があり、まだ安定しない1学期の子どもの読み取りには、表情・目線・動きなどからの読み取りが必要であると感じ、言葉だけでなく行動から興味や思いを捉えるようにしてきた。2学期以降になると徐々に、教師やクラスの友だちとの関係ができ、安心して過ごせるようになるため、子どもたちの言葉がたくさん聞かれるようになる。その中で、子どもたちが発する言葉に耳を傾け、育ちのきっかけになりそうな言葉に教師が気づき、遊びや生活の充実につながる援助を考えていくよう心掛けながら、環境構成を行うことができた。</li> <li>子どもの心が動いて発したと思われる言葉を記録し、その場面を振り返り、考えてみたことは子どもの内面理解につながり、次の日の環境の準備や、一人一人へのかかわりにつながった。</li> </ul>	A	B
	・学年の指導計画と照らし合わせながら、時期や育ちに合わせた環境を意図的に構成し、子ども達の遊びの環境を具体的に捉える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時期や育ちに合わせた環境構成を考え園庭マップを作成したことで、園庭遊びの環境について教師の意識が高まり、子どもの遊びの様子を見ながら教材や素材を準備したり、スペースのとり方を考えたりするようになった。教師の意図した環境設定のもと、子どもたちは遊びの場が作りやすくなり、遊びの拠点が重なり合う中でも、各学年の遊びの保証ができるようになった。夢中になったり、じっくりと遊びに向かう姿が増えていった。</li> <li>毎週学年会をしながら園庭マップに実際の子どもの様子を書き足していくことが難しく、時間が経ってからまとめて記入することが多かった。園庭マップは次の日の保育に生かすものにはならなかったが、指導計画との照らし合わせができ、次年度の園庭遊びで、その時期の子どもの姿や遊びの参考になるものとなった。</li> </ul>	B	A
◎心地よい生活ができるよう、丁寧な生活の仕方について考える。 (幼稚園部)	・自分たちの生活の場であることを子ども達が意識し、気持ち良い生活の仕方を考えていけるような保育を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育室のロッカーの上の整理、物の分類など教師自身が身のまわりを整え気持ちの良い丁寧な生活の仕方について意識するようになり、子どもたちに対しての声がけも変わった。子どもたちは片付け方や整理の仕方がわかると、意欲的に取り組む姿が増えていった。その姿を褒めたり認めたりしてきたことで、自分がしていることがみんなの役に立っていることもわかってきたように感じる。</li> <li>子どもたちが何気なくやっていることにも教師が気づき、気持ちの良い行動を認めるようになってきたことで、学年の育ちに合った『自分でできた!』という嬉しさを感じ、自信をもって自ら動き出す姿が増えていった。(身支度、片付け、当番活動、給食盛り付けなど)</li> <li>一日の生活の流れを教師が事前に子どもたちにわかりやすく伝え、見通しをもちながらの生活を繰り返してきたことで、子どもたちから時計が『3になったら片付けだね』『9になったらさようならでしょ』と気づくようになり、年長組では一日の流れを子どもたちと一緒に考え自分たちで活動を進めていこうとする姿となった。</li> </ul>	A	A
◎地域のニーズを探りながら子育て支援をしていく。	・様々な体験を通して、親子にとって安心できる場を提供していく。 (未就園児教室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>週に1回の活動日の他に、「つぼみ<sup>プラス</sup>」として遊びの回も設けた。全体の回数としてはちょうどよく、つぼみ+では、少人数でよりアットホームな状況の中で、保護者同士、子ども同士、保育者との関係も広がりよかった。</li> <li>10月に開催したミニ運動会では、未就園児教室に登録をしていない方にもご案内し参加していただいた。10月は満3歳児クラスへの移行入園もあったが、ミニ運動会をきっかけに新たな登録者が増えたため、人数が減ることなく活動することができた。</li> <li>年度の終わりには、顔見知りの親子も増え終始和やかな雰囲気の中での活動ができた。他愛もなく世間話をしたりリラックスしていたり、日頃の悩みを相談して下さることも増え、園のことを近く感じていただきながら親子と関係性を築けたことがよかった。</li> <li>年間を通して、遊び、運動、製作、リズム遊び、絵本の読み聞かせなど、様々な内容を考えて実施してきた。興味の方向性や親子のニーズに応じて、今後も内容の工夫を図っていきたい。</li> </ul>	A	A
	・保護者のニーズに応えながら、親子が安心できる場を提供する。 (一時預かり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時預かり保育を10月から始め、3月までで11回の利用があった。今年度初めての試みであったが、保護者の私用、兄弟の行事参加等、様々な状況のもとで一時預かりを利用していただくことができた。日頃から慣れている場であるからこそ、保護者と離れても不安な様子を見せずに遊んだりおやつを食べたりして楽しく過ごす様子が見られ、親子にとってよい時間、機会であるように今後もあたたかく支援していきたい。</li> <li>園の活動との兼ね合いから、一時預かり保育を実施できる日が限られてくるとは思うが、できるかぎり要望に応えられるように、窓口を広くして身近な存在であるように心がけていきたい。来年度は未就園児教室を通して環境に慣れてきた頃にできるだけ早く実施を開始したい。(6・7月頃から予定)</li> </ul>	A	A
◎長時間園で過ごす子ども達が楽しく安定した情緒で過ごすための保育について考える。 (保育部)	・楽しく安定して過ごすための遊びや教材を考え工夫していく。 (なかよし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが安心して過ごしたり、「やってみよう」と心が動ききっかけの一つとして、今年度は製作遊びの充実を図った。製作遊びを通して、自分の物が出来上がった喜びや満足感を味わっている様子が見られた。</li> <li>意図的にきっかけを作らないとなかなか経験しにくいこと(技術の獲得など)を経験できる機会になっていると感じる。季節感を味わえるものや幼稚園での遊びとのつながりも見られた。</li> <li>あまり製作に興味をもっていなかった子ども、保育者の誘い掛けをきっかけにやってみる姿が見られ、繰り返しの経験を通して、製作遊びだけでなく、いろいろな活動に興味を広げていく様子が見られた。</li> </ul>	A	A
	・ドキュメンテーション記録とその考察を継続的に行うことで、子どもと、保護者と、保育者同士との対話を促し、より深い子ども理解につなげていく。 (とことこ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の記録を写真に残し掲示することで、子どもの姿や育ちを保護者と共有できるようにしてきた。次第に保護者の方からも話をして下さる機会が増え、園と家庭とが一体となって子どもの育ちを支えるための連携、関係を築く方法の一つとすることができた。</li> <li>子ども同士の関係性が深まり、同じ場に集まって遊ぶ嬉しさを感じている様子が多くなると、その場では気づけなかった一人一人の目線や表情などを、様々な角度から読み取り、保育者間で共有することができた。写真による記録は今後も続けていきたい。</li> <li>子どもの姿を場面として共有し、子ども理解につなげることができた。さらに、発達の課程を踏まえた上で一人一人の育ちへの願いをもち、長期的な捉えで考察していくことを今後の課題としていきたい。</li> </ul>	B	A

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

学校関係者評価委員会の評価	<p>◎子どもの興味を捉え、育ちにつながる環境の在り方を考える。関係者評価 B、A          幼児教育の内容について誰にでもわかるような説明努力や客観的な捉え等を引き続き行っていき、今後の伸びしろが期待できるため「B」が妥当と考える。          園庭マップの取り組みについては吟味していることがわかるものとなっており「A」が妥当といえる。</p> <p>◎心地よい生活ができるよう、丁寧な生活の仕方について考える。関係者評価 A          生活面について教師自身が模範となり、子どもたちが主体的に動きその姿を褒められる流れになっており「A」が妥当といえる。</p> <p>◎地域のニーズを探りながら子育て支援をしていく。関係者評価 A(2項目とも)          親子にとって安心できる場を提供することができていたため「A」が妥当といえる。</p> <p>◎長時間園で過ごす子ども達が楽しく安定した情緒で過ごすための保育について考える。関係者評価 A(2項目とも)          目標は達成し、次の課題も見えているので、「A」が妥当といえる。</p> <p>◎来年度への課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重点目標の文末は『する』の言い切りし、評価項目も評価しやすいように整理をしていく。</li> <li>『達成状況』の欄を評価の前に作り、評価の根拠を記載してほしい。</li> <li>園児獲得等経営につながる部分、保護者アンケート等、色々な角度からの項目を入れてみてはどうか。</li> </ul>
---------------	--